



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙ほか. 地球 1926, 5(6)

ISSUE DATE:

1926-06-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/183120>

RIGHT:

# 地球

第五卷 第六號

大正十五年六月一日發行

主 要 目 次

圖版 第十一版 北緯線中流部の分水線式地形圖

人文地理學の進歩と日本の都市(下)……………

理學博士 小川 琢 治

北緯線中流部の分水線式地形圖……………

朝鮮半島の地形……………

日本化育の地……………

上越線清水の地……………

イギリスの地……………

地理教材……………

本邦に於ける……………

本邦鑛床の標式……………

屋根概説(二)……………

……………

……………

……………

……………

……………

……………

……………

……………

……………

……………

京 都 帝 國 大 學 內

地 球 學 團

摘 新 著 紹 介 雜 報 質 疑 應 答

地球第六卷第一號（七月號）豫告

太平洋の探検と開發（太平洋の地理學的考察の一）……………理學博士 小川 琢治

東京四近深井掘鑿の結果について……………

……………理學博士 脇水鐵五郎

日本の洪積世に於ける多雨期についての考へ

……………理學士 中村新太郎

四國東部の地形考察と地殼變動の意義……………

……………船越素一

磐城守山町附近風土雜記……………菅谷泰昌

イギリス便り（八）……………文學士 寺田貞次

地理教材としての地形圖（第二十三）……………

講話

石油地質學講話（一）……………理學士 大村一藏

屋根概説（三）……………文學士 藤田元春

摘錄

新著紹介

雜報

質疑應答

□地球第五卷總目錄

# 地球學團第一回臨地研究會

本學團は普通の講習會では地學の眞髓に觸れることが出來ないと考へて、茲に第一回の臨地研究會を企て、地質調査竝に地質圖製作の作業を會員と共に行はうとする。我國では始めての企であるから團員及支部員の學問熱を高めることと豫想する。

開 期 大正十五年八月二十二日より八月廿七日まで六日間

開催地 岡山縣津山町

指導講師 中村新太郎、松 下 進、黒田 徳 米

申込期限 八月十日までに地球學團又は岡山地球學團支部へ申込むこと。

會 費 金參圓、御出席の上御納めのこと。

會員資格 地球學團員又は學團支部員に限る。

宿泊所 其の他に關する詳細は次號に掲載する。

本研究會は前頁豫告の講習會とは別個のものにつき御申込等は各別にされたい。

大正十五年六月

地 球 學 團

# 地球學團第五回講習會開催豫告

本學團は夏期休暇を用ひて左記の要領により地質現象を主題とした講習會を開く、學團員の御賛加を期待する。

開 期  
會 場  
講師及題目

大正十五年八月十五日より十九日まで五日間  
京都帝國大學内  
アルプスと日本との地質構造を論ず  
日本火山總説  
朝鮮の地質現象  
重力の測定と日本に於ける重力の分布  
北支那の地質  
小川琢治  
本間不二男  
中村新太郎  
松山基範  
山根新次

時間割

時間	八月十五日	八月十六日	八月十七日	八月十八日	八月十九日
八時—十時	小川	松山	小川	小川	山根
十時—十二時	松山	小川	中村	中村	中村
二時—五時	本間	本間	松山	中村	山根

懇親茶話會  
申込期限  
會 費  
宿 泊 所  
講習會員資格

講習會員資格

前以て御通知あらば宿所を定め置く、一泊中食附二圓内外、京都市上京區田中門前町四三(百萬遍西門横)村上靜宣館へ行かれると御便宜を計る。  
地球學團員に限る。  
此の際入團希望の方は地球講讀費中ヶ年分以上を地球發行所博多成象堂(大阪市南區大寶寺町西ノ丁二二番替大阪七參參參番)へ前納した上、地球學團へ宛て入團及び講習會參加を申込まれない。

大正十五年六月

地球學團

# 地球第五卷第六號

## 目次

圖版 第十一版 北上縦谷中流部の分水線式地形圖

人文地理學上より觀たる日本の都市(下).....

北上縦谷中流部に就いて.....

朝鮮平安北道南市地方の部落名.....

日本化石產地表(二) 和歌山縣.....

上越線清水隧道測量の概況.....

イギリス便り(七).....

地理教材としての地形圖(第二十二)..... 信濃小野盆地

### 講話

本邦に於ける造山作用火山作用及び鑛床生成の關係  
附本邦鑛床の標式に就いて(下)

屋根概説(二).....

### 摘録

長門二疊石炭紀石灰岩の古生物學的層序學的研究第二部。天  
草の上部白堊紀層に出た鸚鵡貝。丹波のジュラ紀三角貝。犬  
吠岬の漣痕。

### 新著紹介

西洋又南洋。火田の現狀。市街地の商圖

### 雜報

黑海の海洋學的研究。極東に於ける鑛產物資源。白耳義領コ

理學博士 小川 琢 治 五三  
理學博士 渡邊 萬次郎 五五

理學士 向山 武 男 五〇

理學士 中村 新太郎 五七

文學士 菅谷 泰 昌 五三

文學士 寺田 貞 次 五九

理學博士 加藤 武 夫 五五

文學士 藤田 元 春 五〇

ンゴ。アラシル渠。ベスグ火山の近狀。桑港貿易額。墨國石  
油產地。大正十三年度世界主要鑛產額。飛行機によるアラス  
カの地形調査。太陽の黑點。石油成因の一珍説。第四十四回  
文檢地理科像備試驗問題。

### 質疑應答

埃及の獨立。日本の在外領事館。赤峰と打箭爐。

## 地球 前號 (第五卷第五號) 要目

第八版 土佐產下部三疊紀化石

第九版 關東山地山中地帶白堊紀化石

第十版 溫泉水山の拆裂線と熔岩丘

人文地理學上より觀たる日本の都市(上)

理學博士 小川 琢治  
土佐に於ける下部三疊紀の化石 理學士 松下 進

理學博士 矢部 長克  
關東山地山中地帶白堊紀の化石 理學士 長尾 巧

理學士 石川 成章  
南紀湯崎溫泉 理學士

地球の化學成分について(タンマン)

文學士 寺田 貞次  
イギリス傾り(六)

地理教材としての地形圖(第二十一)肥前溫泉火山(下)

## 講 話

本邦に於ける造山作用火山作用及び鑛床生成の關係附本

理學博士 加藤 武夫  
邦鑛床の標式に就て(中)

文學士 藤田 元春  
屋根概況(一)

## 新刊紹介

報

質疑應答

## 地球 前々號 (第五卷第四號) 要目

第六版 波斯の住宅及び聚落

第七版 丹波南桑田郡の住宅

人文地理學上より觀たる日本の村落 理學博士 小川 琢治

北米合衆國の聚落について 文學士 中目 覺

波斯の聚落及住宅 理學士 金原 信泰

先史聚落地理 文學士 小牧 實繁

伊豆諸島の聚落 理學士 辻村 太郎

男鹿半島に於ける二つの港町の特色 小田内通敏

季節と共に興廢する龍登沖船倉島の漁村 理學士 石井逸太郎

武藏野臺地に於ける水と聚落との關係 文學士 菅田 伊人

奈良盆地の聚落 文學士 西田興四郎

京都市内に殘存せる古代の聚落 文學士 藤田 元春

作州津山藩の村落移轉策 經濟學士 黒正 巖

弓ヶ濱砂嘴の地學的瞥見 下間 忠夫

聚落の生態について 西龜 正夫

アルプスの聚落 子爵 田中阿歌磨

# 地球學團規約

- 第一條 本學團は地球學團といふ。
- 第二條 本學團は地球學團に關する學術的研究を進め兼て同好の士の親睦をはかるを目的とする。
- 第三條 事務所は京都市白川通分町京都帝國大學地質學教室内に置く、又會員が多い地方には支部を置く事がある。
- 第四條 本學團の事業は次の如くである。  
 一 雜誌並に圖書の刊行  
 二 講演會の開催  
 三 實地見學の指導
- 第五條 本學團員は地球學團費として一年分六圓又は半年分三圓を發行所へ前納すること。
- 第六條 本學團員になりたい人は、住所職業氏名を申込み、同時に地球學團費半年分以上を、發行所へ送金する事。
- 第七條 學團を脱退しやうとする者は、其の旨を學團に通知する事。

## 注文規定

- ① 購讀者の御注文及び廣告に關する件は博多成象堂へ御申込下さる。
- ② 本誌の御注文代金郵税共はすべて前金にて御送り下さる。
- ③ 郵券代用にての御注文は、割増に願上候。
- ④ 郵券貯金にての御注文は、割増に願上候。
- ⑤ 七番博多成象堂に願上候。
- ⑥ 前金切の場合に、前金切の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下さる。
- ⑦ 御請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下さる。

## 價定

一冊	定價金五十錢	郵税金貳錢
六冊(前金)	定價金參圓	郵税不申受
十二冊(前金)	定價金六圓	郵税不申受

廣告料 一頁 金五十圓

大正十五年五月廿五日印刷納本  
大正十五年六月一日發行

(第五卷)  
(第六號)

製複許不

載轉禁

## 發行所

博多成象堂  
電話大阪特南壹七七番

## 發賣所

博多成象堂  
電話大阪七金參金番

## 所捌賣

(東京) 東京堂 東海堂 大東館  
(大阪) 北隆館 上田屋  
(京都) 實文館 參文社  
(神戶) 共盛社 大瀨堂  
(名古屋) マガジン 川瀬書店 星野書店

編輯者 京都帝國大學内 地球學團

右代表者 藤田元春

發行者 博多久吉

印刷者 岸田重次郎

印刷所 日本社印刷所

大阪市南區大寶寺町四之丁貳拾貳番地

博多成象堂  
電話大阪特南壹七七番

東京市神田區錦町三丁目拾貳番地  
大阪市南區大寶寺町四之丁貳拾貳番地



# CHIKYŪ-THE GLOBE

Vol. V. No. 6.

June, 1926.

Plate XI—Map showing Water-sheds in the Middle Course of Kitakami-gawa, North Japan.

Japanese Cities, Anthroprogoeographically Considered, (2)

By T. Ogawa, *R. H.* ..... 503

On the Middle Course of Kitakami Longitudinal Valley

By M. Watanabe, *R. H.* ..... 515

Village-Names near Nansi, North Pyong-an-do, Korea.

By T. Mukōyama ..... 520

Fossil-Localities in Japan. II. (Wakayama-ken).....

Compiled by S. Nakamura, *R. S.*..... 527

Survey of the Shimizu Tunnel on the Kōzuke-Echigo Line.

By T. Sugaya ..... 532

Geographical Correspondence from England and Scotland (7)

By T. Terada, *B. S.*..... 539

Topographical Maps recommended for Schools (22)..... 542

Relation between Mountain-Making Movement, Volcanic

Action and Ore-Deposition in Japan, with an Appendix on the Types of Ore-Deposits in Japan.

By T. Keato, *B. H.* ..... 545

On the Development of the Outlines of Roof (2).....

By M. Fujita, *B. S.*..... 560

Abstracts—New Books—Geographical Notes—Inquiries.

**Chikyū Gakudan**

Kyōto Imperial University.